

事業名	保育所や幼稚園における支援の向上 (職員の気づきの能力と 支援機関へつなぐ技術の向上)	実施期間	支援の検討: H21年度～H23年度																													
1. 目的 一般的な保育機関等での専門的なサポートの整備 保育機関等(保育士等)の各障害に対する資質向上及び専門機関によるサポート 一般的子育て機関と専門機関との連携及びその充実 各支援機関の機能特性を活かした地域における重層的な支援体制の構築 一次的な相談窓口としての機能向上のため、保育機関等の専門性の向上及び体制の整備																																
2. 事業内容 保育場面における障害理解の向上及びバックアップ体制整備 保育機関など、一般的な支援機関での気づきや支援強化のための研修会実施 専門職等で組織した指導チームを形成し、巡回支援の実施により療育技術の指導実施 障害児等療育支援事業における「施設支援指導」への重点的な拡充 保育・教育・行政機関のスキルアップと専門的支援機関との連携体制の構築																																
3. 現状及び状況データ等 (1)千葉県内における保育所・幼稚園数及び定員 <table><tr><th rowspan="2">千葉県</th><th colspan="2">県内53市町村</th><th colspan="2">県内56市町村</th></tr><tr><th>施設数</th><th>定員</th><th>施設数</th><th>定員</th></tr><tr><td>保育所(公立)</td><td>342</td><td>34,654</td><td>452</td><td>47,744</td></tr><tr><td>保育所(私立)</td><td>192</td><td>17,362</td><td>273</td><td>25,130</td></tr><tr><td>幼稚園</td><td>257</td><td>63,390</td><td>428</td><td>106,804</td></tr><tr><td>計</td><td>791</td><td>115,406</td><td>1,153</td><td>179,678</td></tr></table> ※ 幼稚園については公立を除いております。(次回訂正。) (2)障害児等療育支援事業(県単独事業)の現状 ア. 平成21年度契約状況(県内政令市・中核市を除く) 県内 60事業所において実施。 うち、施設支援指導事業においては、27事業所で実施。 イ. 予算額及び支援事業別単価 ①平成21年度当初予算額 59,101千円(委託料) ②事業別単価 (ア)訪問療育相談支援事業 :1回につき 4,850円 (イ)訪問療育支援事業 :1回につき 6,270円 (ウ)外来療育相談支援事業 :1回につき 1,850円 (エ)外来療育支援事業(個別) :1回につき 2,270円 外来療育支援事業(集団) :1回につき 7,000円 (オ)施設支援指導事業 :1回につき 20,500円				千葉県	県内53市町村		県内56市町村		施設数	定員	施設数	定員	保育所(公立)	342	34,654	452	47,744	保育所(私立)	192	17,362	273	25,130	幼稚園	257	63,390	428	106,804	計	791	115,406	1,153	179,678
千葉県	県内53市町村		県内56市町村																													
	施設数	定員	施設数	定員																												
保育所(公立)	342	34,654	452	47,744																												
保育所(私立)	192	17,362	273	25,130																												
幼稚園	257	63,390	428	106,804																												
計	791	115,406	1,153	179,678																												

(3) 千葉県内の子ども相談支援機関

ア. 千葉県

児童相談所(県6所・千葉市1所)

発達障害者支援センター

イ. 市町村

千葉市発達障害者支援センター

船橋市こども発達相談センター

銚子市立わかば学園

市川市こども発達センター

松戸市こども発達センター

東金市簡易マザーズホーム

習志野市総合福祉センターあかしあ学園

柏市教育委員会事務局 教育研究所

市原市発達支援センター

流山市立つばさ学園

八千代市児童発達支援センター

我孫子市こども発達センター

印西市子ども発達センター

白井市こども発達センター

栄町簡易マザーズホーム

(4) 千葉県内の児童デイサービス

県内において、79施設。定員1,098名。(政令市・中核市を含む。)

(5) 日中一時支援

県内53市町村のうち、50市町村において実施。

(6) 県健康福祉センター

県内13センター。うち、6センターにおいて家庭児童相談室を設置。

(7) 市町村福祉事務所(政令市・中核市を除く。)

県内、33福祉事務所。うち、すべてにおいて家庭児童相談室を設置。

(8) 特別支援学校

幼児期を対象とする5校。小学期を対象とする33校。(県内36校)

(9) その他、連携が望まれる機関等

ア. 関係機関

医療機関 / 小中学校(特別支援学級含む)

中核地域生活支援センター

イ. 検討・推進協議会等

地域自立支援協議会(療育支援部会等) / 特別支援連携協議会

要保護児童連絡地域対策協議会(子どもを守る地域ネットワーク)

特別支援教育コーディネーター連絡協議会

4. 第四次千葉県障害者計画の記述

(1) 早期発見に係る課題

- ・ 保育場面等における障害理解の向上及びバックアップ体制整備
- ・ 乳幼児健診にて、受診率及び健診内容、その後のフォローの見直し

(2) 早期支援に係る課題

- ・ 不安をあおるのではなく、一般的な子育て関係機関の対応及び支援の向上
- ・ 一般的な子育て機関と専門機関との連携及びその充実

(3) 家庭支援に係る課題

- ・ 家族(特に兄弟など)に対して、地域生活での負の感情への支援

(4) 身近な地域における療育機関の不足

- ・ 身近な地域での相談・療育支援の確保が必要
- ・ 一般的な保育機関等での専門的なサポートの整備が十分でない
- ・ 保育機関等(保育士等)の各障害に対する資質向上
- ・ 保育機関等(保育士等)へ専門機関によるサポートが必要

(5) 発達・知的障害に係る課題

- ・ 障害としての概念や受容、障害福祉サービス利用への抵抗感が強い

(6) 聴覚・視覚障害に係る課題

- ・ 一般的な保育及び教育機関において、視覚障害教育の周知不足

(7) その他の課題

- ・ 知的障害を伴わない自閉症への障害特性に合わせた支援
- ・ 保育機関など、一般的な支援機関での気づきや支援強化
- ・ 早期発見により、不安のみをあおる場合があるため、一連の流れの中で実施
- ・ 「気になる」段階からの支援。「育ち」の過程を重視する
- ・ 成長過程で障害が明らかになる子どもを抱える家族が心理的に抵抗無くサービスを利用できるための制度的工夫が必要
- ・ 療育支援コーディネーターとの連携が必要

5. 「第5回療育支援専門部会」において、検討事項として報告いただいた内容等

「気づき」に対して、「見守り」と「連携」の線引き等の判断
「気になる子」に対して、保育士が出来るチェック項目
療育現場の見学及び具体的な療育支援についての学びの場

「気になる子」を、そのまま過ごさせることの保障
どの場面で、不適応を起こしやすいのかを観察し、把握する
担当の保育士だけでなく、園全体で「その子」を理解し、信頼関係を築く

「気づき」の質の差を埋める支援
集団の中で「どのように生活していけるのか」を重点的にアドバイス

保護者へのアプローチの手法
保護者（特に母親）が孤立しないための支援（親支援の視点）
保育士と保護者の求めるもの（資質）のギャップの把握

5歳児（年中）のクラスへの巡回というシステムの構築
年に複数回の巡回をし、保育所・幼稚園が次に繋げる
それぞれの分野の専門家が見ると、目の付け所が違うため、チームの組み方
巡回相談と保育所・幼稚園側の役割の線引き
子ども一人ひとりにあった専門機関等へのコーディネート支援

具体的なケース会議の開催
横の連携をしやすいためのシステムづくり
健康診断などにおける地区担当保健師との連携
就学に向けた教育委員会や小学校、特別支援学校等との連携
専門機関などの情報の提供

保育所・幼稚園の開放による子育て相談